

報道関係者各位

平成 25 年 7 月 31 日

アバゴ・テクノロジー、28nm CMOSにおける32G SerDes性能を実証

ASICおよびASSP向けのSerDes IPにおける アバゴ・テクノロジーの先進性を拡張する最新製品

アバゴ・テクノロジー株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：米山周）は、当社の28nmシリアライザ/デシリアライザ(SerDes)コアが、最大40dBのチャネル損失に対応すると同時に32 Gbps性能を達成したことを発表しました。この最新のSerDesコアは、チップ・ツー・チップ、ポートサイドおよびバックプレーン・インタフェース向けのデータ・レート実現性を再定義するだけでなく、データ・センターおよび企業アプリケーション向けの最先端ソリューションを提供するアバゴ・テクノロジーの継続的な取り組みを反映するものです。

アバゴ・テクノロジーのASIC/ASSP製品事業部の事業部長 フランク・オストジックは「アバゴ・テクノロジーは、これまで高性能なASICおよびASSPに組み込んだ3億5000万個以上のSerDesチャネルを出荷してきました」「また最新SerDes製品によって、アバゴ・テクノロジーは、増え続ける帯域幅要求を満たす製品の開発を可能にする独自技術を他に先駆けて提供しています。」と述べています。

また、Linley Groupのシニアアナリスト ジャグボラリアは「アバゴ・テクノロジーは、32G性能を実現することによってそのSerDes技術の頑強性を証明しています」「規格は、データ・レートを低消費電力で高める要求に応えるように発展し続けています。アバゴ・テクノロジーは、この性能レベルをすでに実証済みであり、将来の仕様に取り組む準備をしています。」と述べています。

アバゴ・テクノロジーの知的所有権(IP)SerDesコアは、モジュール型マルチレート・アーキテクチャによって組み込みが容易であり、アバゴ・テクノロジーは、単一ASIC上に400個以上のSerDesチャネルを組み込みました。アバゴ・テクノロジーの28nm SerDesコアは、独自の判定帰還等化(DFE)アーキテクチャを特徴とし、全体的な低消費電力、クラス最高のデータ・レイテンシ、クラス最高のジッタおよびクロストーク耐性など、いくつかの独特で重要な機能を備えています。

アバゴ・テクノロジーには、高信頼性で高性能なASICをオンタイムで出荷してきた歴史があります。30年の設計経験、最新の階層的設計手法、および複数の規格をカバーするIPポートフォリオが、複合的なASICを有線通信市場に供給するアバゴ・テクノロジーの基礎となっています。アバゴ・テクノロジーの幅広いSerDesポートフォリオは、PCI Express、ファイバ・チャネル、XAUI、CEI、10GBASE-KR、SFI、IEEE 802.3baなどの広範囲の産業仕様をサポートし、光、銅およびバックプレーン・アプリケーションに対応するフレキシビリティを提供します。

PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-7-7
青葉台ビルズ7F
www.avagotech.co.jp



アバゴ・テクノロジー社

日本法人： アバゴ・テクノロジー株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：米山周）

アバゴ・テクノロジーは、通信、産業、民生向けアナログ・インターフェース機器のグローバルリーディング・サプライヤーです。当社の主力製品は、アナログ、ミクスドシグナル、オプトエレクトロニクスの部品やサブシステムなど多岐にわたっています。ターゲット市場は、インダストリアル / 自動車、情報通信 / エンタープライズ・ネットワーク、そして携帯電話／ワイヤレス・コミュニケーションの3つの主要マーケットに、高機能そして高品質製品を提供しています。また、世界中に技術サポートおよびカスタマーサービス拠点を有し、お客様をサポートしています。アバゴ・テクノロジー技術革新の伝統は、50年前のヒューレット・パッカーに遡り、そしてアジレントの時代から受け継がれてきたものです。詳しくは当社のウェブサイト www.avagotech.co.jp をご覧ください。

#

Avago、Avago Technologies、A のロゴ、および Vortex Gearbox は、米アバゴ・テクノロジー社、またはその子会社もしくは関連会社の商標です。

本件に関するお問い合わせ先（報道関係者）：

株式会社中外

松田 尚

TEL: 03-3255-8411

matsuda@chugai-ad.co.jp